

日高アドベンチャーキャンプ

趣旨 2泊3日の自然体験キャンプを通して、仲間との人間関係を深めるとともに、困難な状況に直面してもそれをしっかりと受け止めて乗り越えていく心身を養う。

ポイント 各グループに学生カウンセラーを2名配置し、子どもたちの活動やふりかえりの支援を行うとともに、子どもたちに協議や意思決定の機会を多く与えることで、子どもたち自身が主体的・協働的に活動に取り組めるよう配慮した。

期 日：令和5年8月13日（日）～15日（火）

会 場：国立日高青少年自然の家

対 象：小学校4年生～6年生

人 数：14名

ボランティア：6名（北海道教育大学岩見沢校）



プログラム

【8月13日（日）】

- ①開会式 ②アイスブレイク ③テント設営 ④沢登り（サンゴの沢上流部） ⑤薪割り・火おこし・炊事
⑥たき火・ふりかえり

【8月14日（月）】

- ①薪割り・火おこし・炊事 ②サイクリング ③沢登り（岡春部川中流部） ④やまべ釣り
⑤たき火・ふりかえり

【8月15日（火）】

- ①薪割り・火おこし・炊事 ②テント撤収 ③ふりかえり ④閉会式



沢登り



野外炊事



たき火・ふりかえり

【成果】

事業終了後のアンケートでは「沢登りの難しい場所が怖かったけれど、みんなが声をかけてくれたし、助けてくれたから楽しくできた」、「みんなが優しくて、自分ができないところも、協力してうめてくれることに気がついた」との声が寄せられ、子どもたちの人間関係の深まりや困難な状況への協力や対処の機会を提供できた。

【課題】

今回は、天候の影響を受けることが少なかったが、荒天の場合でもレジリエンス（困難な状況に直面してもそれをしっかりと受け止めて乗り越えていく心身の回復特性）の向上を図るための代替プログラムを検討し、必要に応じて試験的に実施していきたい。